



B-DASHプロジェクトに JS が共同提案した事業が採択されました
—消化ガス中の二酸化炭素をメタンへ変換、利用促進へ！—

国土交通省が令和6年度に実施する下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト）^{※1}において、日本下水道事業団（JS）が民間企業と共同で提案した下記の事業が採択されました。

JSは今後も社会ニーズの変化に対応する新技術を開発し、下水道イノベーターとして、下水道事業の変革を牽引します。

下水汚泥消化ガスの Ex-situ 型バイオメタネーション反応技術に関する調査事業
〈FS 調査^{※2}〉

- ・ 事業実施者 : 日立造船(株)・日本下水道事業団による共同研究体
- ・ 事業期間（予定） : 令和6年度～令和7年度
- ・ 事業概要 : Ex-situ 型（槽外型）バイオメタネーション^{※3}反応技術により消化ガス中のメタンを高濃度化し、生成ガスの都市ガスへの適用性等の確認を行い、本技術の国内下水処理場への導入可能性を検討する。

※1. 下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト：Breakthrough by Dynamic Approach in Sewage High Technology Project）とは、新技術の研究開発及び実用化を加速することにより、下水道事業におけるコスト縮減や再生可能エネルギー創出等を実現し、併せて、本邦企業による水ビジネスの海外展開を支援するため、国土交通省が実施しているものです。なお、B-DASH プロジェクトは、国土交通省国土技術政策総合研究所の委託研究として実施されます。

※2. B-DASH プロジェクトにおける FS 調査とは、実規模実証の前段階にある技術に対し、普及可能性や技術性能の確認等の検討を行うものです。

※3. バイオメタネーションとは、微生物の働きにより二酸化炭素と水素からメタンを合成する技術です。消化ガスにはメタンや二酸化炭素等が含まれており、水素を供給・反応させることで、消化ガス中のメタンを高濃度化することができます。本事業では、消化タンクとは別に設けたメタン化反応槽でバイオメタネーションを行う Ex-situ 型（槽外型）を対象とします。

<問い合わせ先>

日本下水道事業団

技術開発室長 三宅 晴男

TEL : 03-6361-7849

E-mail : jsrd@jswa.go.jp